



これからの地域社会は 協働がキーワード

近ごろ「協働」という言葉をよく耳にしませんか？
「協働」とは、「同じ目的のために協力して働くこと」
では、今なぜ「協働」が必要なのでしょう？

阪神大震災や福井豪雨など、近年、国内のいたるところで発生している災害をきっかけに、地域での助け合いの大切さが再認識されています。

また、今までは市役所へ言えばある程度対応してくれたことでも、長引く不況の影響などによる財政難で市民の多様化する要望に応えることが困難になりつつあります。

そこで、地域のつながりを強くして、地域でできることは地域で協力して対応することが必要になってきました。
と言われても、

- 仕事や家のことで忙しいし、町内のことやボランティアには参加できない。
- 地域のことに参加するなんて、面倒だ。
- どこで活動していいかわからない。

と思っていられないませんか？ あなたの身近な場所で、参加する機会を探してみたいはかがでしょう。

まず第一歩は「知る」ことからです。

例えば、

- 何かのイベントに1日でも1時間でもいいから参加してみる。
- 家族で参加してみる。
- インターネットの環境がある方は、ネット上で参加してみる。

あなたが住んでいる地域や市が、今どのような状況にあるのか、知ることから始めましょう。

★ある区長さんの話

今は市役所も財政的に大変やし、市役所に何かしてくれという前に「自分たちはここまでやります」という役割分担をせなあかん。

★ゴミを出しにきたおばちゃんの話

今はゴミ一つ出すのにも分別が大変やけど、昔はこんなよけのゴミが出なかった。一人ひとりがゴミを出さんでもいいように工夫せなあかんの。



NPOセンターは、皆さんの「知りたい」「参加したい」気持ちを応援します。

様々な種類の活動団体の紹介や、センター主催の行事を通じて、情報発信を行っています。

どうぞお気軽にお問合せください。

市民の皆様の思いを形にする「鯖江市まちづくり基金事業」



子どものための国際理解講座 (鯖江市国際交流協会)

■「貿易ゲーム」などを通じて、
楽しみながら国際交流を深めました。



市民活動フォーラム2006inさばえ (市民フォーラム実行委員会)

■子育て・公共交通・環境・福祉の4つの分科会に分かれ、市民活動の現状と問題点を語り合いました。



ハーモニカまつり (鯖江ハーモニカ倶楽部)

■誰もが吹いた思い出のあるハーモニカ。来場者と一体になった演奏は大好評でした。



フォトコンテストinSABAE12 (NPOフォトブラザさばえ)

■このコンテストの写真が、毎年鯖江の歴史に刻まれます。
19年2月より作品受付開始！

写真は「鯖江市まちづくり基金事業」の助成事業の一部です。